

「甘くておいしい」

鶴田「観光ぶどう園」オープン

園児がスチューベン収穫



成田さん(右)からアドバイスを受けながらブドウのつるを切る園児

鶴田町で4日、生産量日本一を誇るスチューベンを収穫できる「観光ぶどう園」がオープンした。初日は町の中央保育所の園児9人

が津軽ぶどう協会長の成田義弘さん(60)の園地を訪れ、甘く熟した房を慎重な手付きで収穫した。同園は今年20日まで。(下山和枝)

観光ぶどう園は町の特産物を広く知ってもらうことを目的に3年前から始まった。今年中心とする園地9カ所でオープン。つるに下がったスチューベンを自分で収穫してその場で味わえるほか、持ち帰ることも可能。

この日訪れた園児は、房を手を持った状態でつるを切るよう成田さんに教わった後、はさみの持ち方に気を付けながら丁寧に収穫。長内萌愛ちゃん(5)は「スチューベングなった園地に入ったのは初めて。とても甘くておいしい」と笑顔で話した。

開園時間は午前9時

午後4時。期間中ても黄色の「開園中」の旗がない場合は休園。入園料は大人500円、小学生以下300円。持ち帰り料金は1円。キタたり500円。園地によって異なる場合もある。問い合わせは町観光協会(☎0173323414)か、道の駅つるた「鶴の里あるじや」(☎0173325656)へ。